

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373800396
事業所名	グループホーム安心樹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  “地域に開かれたホーム”を目指しており、様々なホーム訪問がある。1ヶ月毎に地域の幼稚園児が訪問し、利用者と交流している。 折り紙ボラや傾聴ボラ、理・美容のボランティア等の来訪がある。	評価  ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  運営推進会議への参加者が多彩である。行政枠で市・介護保険課長、地域包括支援センター所長、地域枠で区長、2地区の老人会会長、民生委員、地域住民、家族枠では家族代表等々である。 市条例に倣い、年6回の開催である。	評価  ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  運営推進会議メンバーとして介護保険課長の参加があり、欠席の場合には同課職員の代理参加がある。 毎月介護相談員2名が訪問しており、ホームの状況を行政は把握している。	評価  ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  管理者をはじめ、多くの職員の入替えがあったが、家族アンケートでは管理者・職員への感謝、励ましの言葉が多かった。 毎月、利用者の写真を多用した「やすらぎ新聞」を家族に届け、利用者の日常を伝えている。 春(5月)には、家族参加のバス旅行(なばなの里)が待っている。	評価  ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価  ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○			